



R3. 9. 1発行

残暑で暑い日がしばらく続いていますが、日の長さは少しずつ短くなり秋に近づいてきました。

この夏は、水遊びをしたり、泡や氷など感触遊びを多く行いました。感触を嫌がったり水がかかると泣く子どもいましたが、少しずつ慣れ、今では喜んで遊ぶ姿が見られます。今月は気温を見ながら散歩や公園、園庭遊びを取り入れて、戸外でも体を動かしていきたいと思います。

～イヤイヤが見られるようになりました～

最近保護者の方から「イヤイヤをするようになった」「これってイヤイヤ期?」「イヤイヤ期はまだ早いのでは?」等の声を聞くことが増えてきました。園でも保育者の誘いに対して「やりたくない」と泣いたり、その場で座り込み、抵抗する子ども見られるようになってきました。イヤイヤ期とは「魔の2歳児」と言われているように2歳前後から現れますが、早い子だと1歳前半から始まることもあり、1歳前後から3歳に至るまで形を変えながら続いています。この時期になると自分と相手は違う存在ということに気付き始め、自分の考えや意思を持ち始めます。これが「自我」です。今まで言われたとおりに行っていたことに対して自分は相手と違う考えである、自分で決めたいという気持ち生まれ、まだ言葉をうまく言えないためにそれが「イヤ」という言葉として出てきます。1歳前後で見られるイヤイヤは助走期と言われ、まだ「イヤ」と言えないために言われたことに対して怒って泣いたり、抵抗して相手はこう言っているけど僕は違うというアピールを繰り返しながら少しずつ「自分」というものを意識始め、「自己」を確立していきます。好きな物へのこだわりや嫌いなものを徹底して嫌がるという姿も現れます。これが2歳前後になると本番期と言われ、「イヤ」という言葉を言えるようになり、ひたすら「イヤ」で応じるようになるのです。保護者の方は苦労することもあるかもしれませんが、子どもにとっては成長していくにあたって大切な時期です。頭ごなしに注意するのではなく、「〇〇したかったね」と気持ちを汲み取って受け止めつつ、全て子どもの言う通り、大人の言う通りにするのではなく、「〇〇と〇〇どっちがいい?」と選択肢を与えて、自分で選んだという達成感を味わえるようにしてみてください。



<今月のねらい>

- ・生活リズムを整えて過ごす
- ・保育者や友だちと全身を使って遊ぶ

<今月の予定>

- ・散歩（園周りや近隣の公園に行きます）
- ・巧技台、マット ・体操
- ・指先遊び（粘土、砂、シール貼りなど）

♪今月のうた♪

- ・どんぐりころころ
- ・おべんとうはこのうた

